

塩田津町並み保存会

—重要伝統的建造物群保存会—

題字：熊谷靖彦氏（本應寺）



vol. 47

発行：特定非営利活動法人塩田津町並み保存会
お問い合わせ：塩田津町並み交流集会所

発行日：平成 28 年 7 月 1 日

Tel/FAX 0954-66-3550

E-mail: shiotatsu1227@dune.ocn.ne.jp



第 6 回通常総会 於：本應寺本堂

去る五月十四日、本應寺本堂に於いて、第六回塩田津町並み保存会通常総会を開催しました。

二十七年年度の事業報告及び決算、二十八年年度事業計画及び予算、併せて任期満了に伴う役員改選の議案等、五議案が慎重審議のうえ可決、決定されました。

審議の経過につきましては、交流所に議事録がご覧いただけます。



「川と町並み夢ぶらん」について説明する九大樋口先生

議案審議が終わって、塩田津再生水辺のデザインと伝統的建造物群」と題して九大の島谷・樋口両研究室より講演をいただきました。

島谷先生からは二十七年の「連の流れを、樋口先生、林先生からは、その結果作成した『川と町並み』のマスタープランについて、平面図を見ながら、具体的にお話をいただきました。

また、同研究室の榎本碧特任助教からは、『塩田石ストーンバンク』への今後の取り組みについても熱く語って頂きました。





潮騒



▼さが未来スイッチ交付金事業が始まる。平成二十八から三十九年度まで交付金を得て、川と町並み夢ぼらん」の成果であるマスタープランを進めていくための準備事業となります。ハード事業前の素地づくりです。(ト)

▼これからの「川と町並み」の創造は、①塩田津への内外流動人口を増やすこと。そして、これに刺激を受けてやがて②お食事処・土産物屋さん、地酒販売を始め特産物の販売所、魚屋さん、お菓子屋さん等々地域に就業が生まれます。(ハ)

▼地方創生は、皆さんに潜在している知恵と工夫に、最終的には国や県・市の力を頼みにして始めて完成します。歴史と文化を語る嬉野市や塩田津と町並み」は、上流のいで湯と茶の里」嬉野街に宿泊客を呼び込む最高のプレゼンテーションです。(ニ)

▼杉光敬一 副理事長が再任された。任期は6月1日から2年です。折から地方創生塩田パーシジョンの進行中で、地元町区の青壮年会々長も併せながら、超多忙の毎日です。

石造物見学のつとい 6月7日

ガイド連絡会の馬場さん、宮後さんの案内で、花みずきの会のみなさん達が八天神社ほか十数社を見学しました



町内には、驚くほど数多くの石仏、石の橋、繊細に彫られた石の彫刻、大きい仁王像、いろんな顔の狛犬があります。中でも、丹生神社の狛犬は、お乳を飲ませたり、赤ちゃんを抱っこしている珍しいものです。見る価値があるものばかりです。気軽に行ける所ですので、是非一度足を運んでみてください。

(花みずきの会 原田教子さん)

夏のおもてなしお茶会 6月26日

梅雨の晴れ間、子ども劇場とお茶会が開催され40名の参加がありました。軒先市に参加していた皆さんもお茶席に流れて一服し、ほっとく



なで短冊に願い事を書いたり、七夕飾りを作ったり、七夕飾りを作った。子どもたちは、みんな楽しんでいました。そのあとお茶の作法を習ってから、おいしいお茶をいただきました。



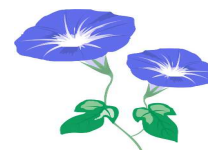
5月20日（金）

平成28年度保存修理家屋の現場説明会が行われました。

今年度の修理は・・・森家（旧川新）

・円田家倉庫

・立伝寺石垣・・・の3か所です。



家屋希望調査アンケート
に、ご協力いただきまして
ありがとうございました。



6月10日（金）

5月末から実施しました平成29年度家屋修理希望調査アンケートをもとに
家屋修理希望者の現地視察を行いました。

修理の希望については、毎年アンケートを実施しており、傷みの程度や、修
理後の活用について審議会や保存会などの協議を経て次の年に修理されるお宅
が決まります。

※**伝統家屋**とは・・・塩田津の特徴を良く留めている家屋で、昭和初期（概ね
50年以上前）までに建設された家屋であることが確認されたもの

※**保存物件**とは・・・伝統家屋の中でも、所有者が将来的に保存していくことに
同意しているもの

～これからの予定～

★7月4日（月）建築の日

建築士と塩田工業高校生の土壁塗り実習体験学

★8月16日（火）塩田夏祭り

古写真で振り返る塩田津（予定）

塩田津打ち水作戦（予定）



毎月 第2・第4日曜日

午前8時～10時まで

軒先市へようこそ！！

安全、安心な野菜たちが
待ってます

